

2023年8月21日 基調講演 INAF 副理事長 羽場久美子

「日中韓・沖縄、ジエジユ、平和と発展の地域協力
[한중일 오키나와 제주도 평화와 발전의 지역협력]

©羽場 久美子

青山学院大学 名誉教授

하바쿠미코

/INAF부이사장/아오야마가쿠인대학영예교수

早稲田大学招聘研究員

世界国際関係学会アジア・太平洋 会長

1. 現在の世界の大きな流れは、どうなっているのか？ データから見る21世紀

- ▶ 1. **アジア（中国,インド,ASEAN)の急速な経済成長。**
- ▶ 2. **世界人口：2100年には、アジアとアフリカで8割、米欧1割**
- ▶ 3. **コロナ・パンデミック：死者は当初9割が米欧、現在も死者の5割が米欧**
- ▶ 4. **日本、少子高齢化：40年後に労働力人口が現在の半分に
（4割が65歳以上）移民、近隣国との協調なければ不可能**
- ▶ 5. **ロシア・ウクライナ戦争：軍備拡大ではなく早期停戦を**
- ▶ **世界の流れは、アジア・アフリカとの共存と発展**
- ▶ **米欧の軍備拡大は、焦り→軍縮と平和こそ重要**
- ▶ **日本はアジアの一国。G7とG20を繋ぎ、アジアの平和的繁栄を
支え協力することこそ、大切。**
- ▶ **戦争ではなく、平和と軍縮、発展こそ重要、とデータが教えている。**

表1. 地域別世界人口の推移

＜豊かさ・経済力・IT/AI＞

2100年、Asia Africaの国々が世界人口の8割を超える。

米欧は1割を切る。(1割はLA) (明石康国連研究会)

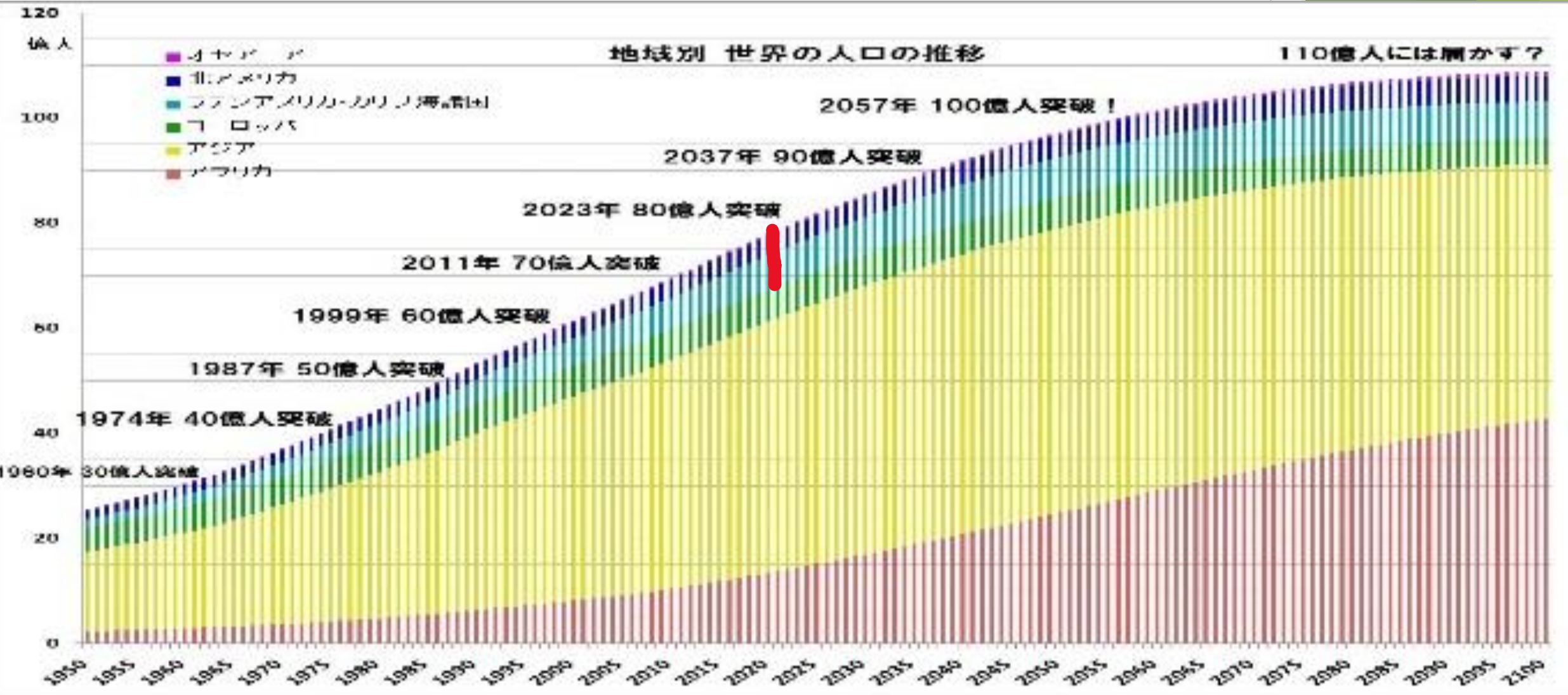
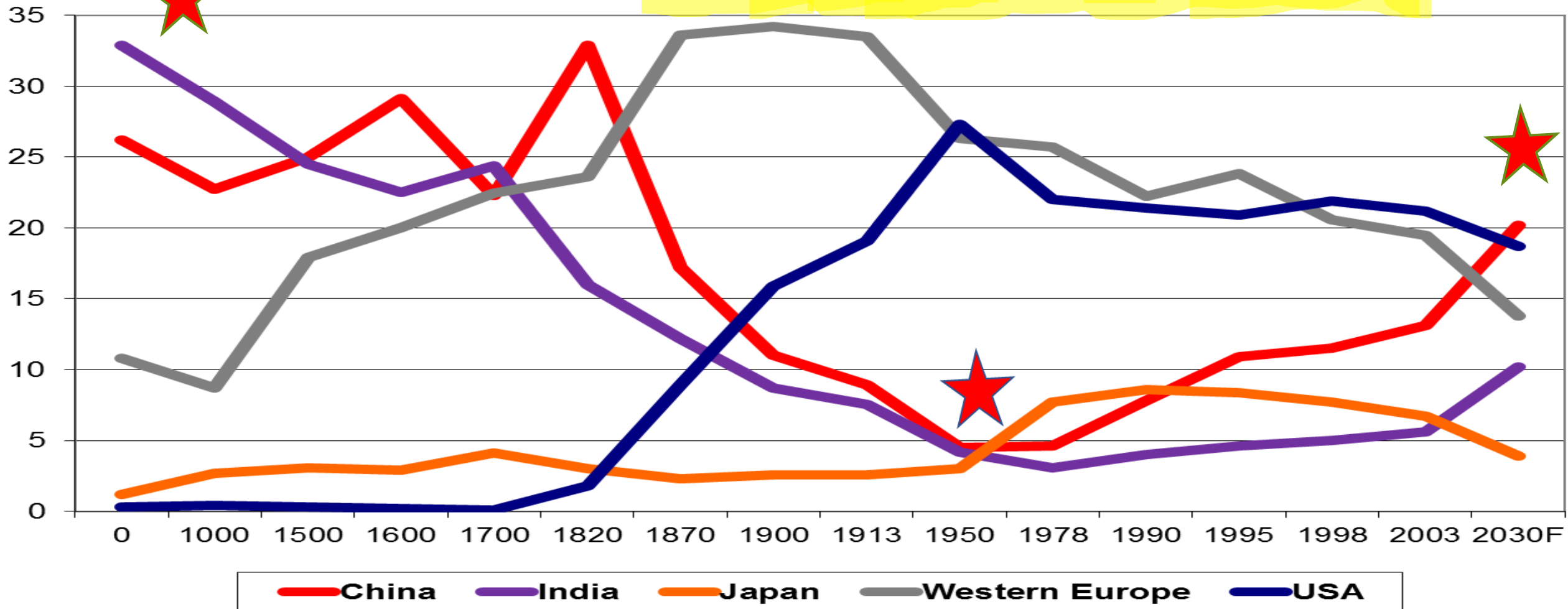


表2-1) アンガス・マディソンの経済統計西暦1-2030年 (河合正弘氏グラフ)

インド・中国は1800年間の繁栄：古代・中世・近世、未来。世界経済の中心
 欧米近代の時代はたった200年！（アジアアフリカの植民地により成長）



Source: Angus Maddison, *Contours of the World Economy 1-2030 AD (2007)*, *The World Economy, A Millennial Perspective (2001)*; and "The West and the Rest in the World Economy: 1500-2030" (2005)., Masahiro Kawai, *Asian Economy*

表2-2) <アジアの経済成長> 世界名目GDP (2022) IMF/Elemenist
 2028年 (6年後) 中国はアメリカを超える。(アジアBRICS成長 赤)

| 順位 | 国名 | 単位 (百万US\$) |
|-----|----------|-------------------|
| 1位 | アメリカ合衆国★ | 25,346,805 |
| 2位 | 中国★ C | 19,911,593 ↑日本の4倍 |
| 3位 | 日本 | 4,912,147 |
| 4位 | ドイツ | 4,256,540 |
| 5位 | インド I | 3,534,743 |
| 6位 | イギリス | 3,376,003 |
| 7位 | フランス | 2,936,702 |
| 8位 | カナダ | 2,221,218 |
| 9位 | イタリア | 2,058,330 |
| 10位 | ブラジル B | 1,833,274 |
| 11位 | ロシア連邦 R | 1,829,050 |
| 12位 | 大韓民国 | 1,804,680 |

表2-3) PPP(購買力平価) ベースのGDP (2021)

既に中国はアメリカを、インドは日本を超えている。

▶ 2021年 購買力平価GDP (IMF統計) (アジア・BRICS 赤)

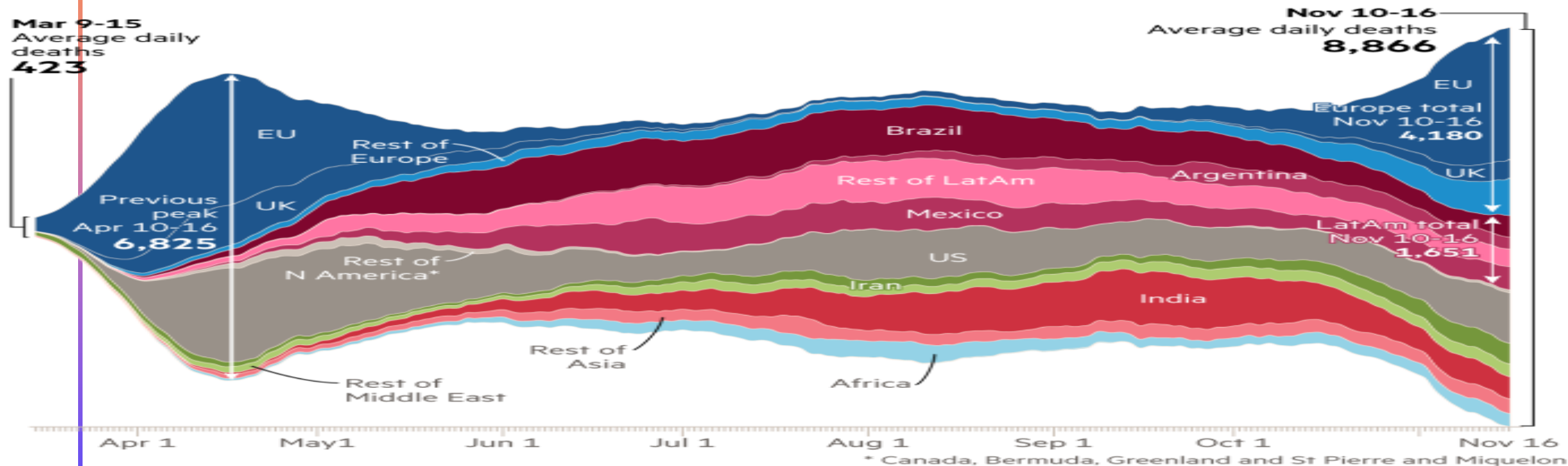
| ▶ 順位 | 国名 | 単位 : 百万US\$ |
|------|--------|-------------|
| ▶ 1 | 中国 C | 27,206,091 |
| ▶ 2 | 米国 | 22,996,075 |
| ▶ 3 | インド I | 10,193,541 |
| ▶ 4 | 日本 | 5,606,553 |
| ▶ 5 | ドイツ | 4,888,363 |
| ▶ 6 | ロシア R | 4,494,223 |
| ▶ 7 | インドネシア | 3,566,259 |
| ▶ 8 | ブラジル B | 3,435,874 |
| ▶ 9 | イギリス | 3,402,740 |
| ▶ 10 | フランス | 3,358,913 |
| ▶ 11 | トルコ | 2,953,937 |
| ▶ 12 | イタリア | 2,734,614 |
| ▶ 13 | メキシコ | 2,669,061 |
| ▶ 14 | 韓国 | 2,517,129 |
| ▶ 15 | カナダ | 2,024,955 |

表 3. 2020年のコロナ・パンデミック感染死亡者数 (2023年現在、67800万人が感染、679万人が死亡)

死者は第1波で米欧が9割、2020年末で米欧が6割、現在も**死者の半分が米欧**
(青が欧州、灰色がアメリカ、中はラテンアメリカとインド)

Europe's Covid-19 resurgence pushes daily death toll higher than April peak

Daily deaths of patients diagnosed with coronavirus (7-day rolling average)



Daily confirmed deaths (% by region, 7-day rolling average)

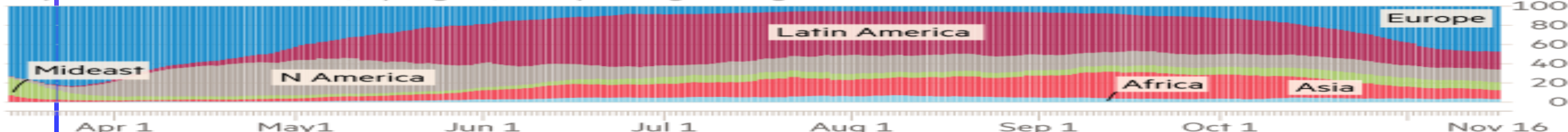


表4. 現在のコロナ感染・死者、トップ10か国

worldometers (東アジア感染拡大、But死者比率が違う)

| | World | 671,032,177 | +215,123 | 6,729,117 | +831 | |
|----|-------------------|-------------|----------|-----------|------|------|
| 1 | <u>USA</u> | 103,482,187 | | 1,125,020 | 1% | |
| 2 | <u>India</u> | 44,681,884 | | 530,726 | | |
| 3 | <u>France</u> | 39,442,176 | | 163,347 | 0.5% | |
| 4 | <u>Germany</u> | 37,605,135 | | 163,775 | | |
| 5 | <u>Brazil</u> | 36,623,217 | | 695,334 | | |
| 6 | <u>Japan 日本 ★</u> | 31,308,352 | +132,071 | 62,264 | 0.2% | +503 |
| 7 | <u>S. Korea</u> | 29,774,321 | +36,552 | 32,912 | 0.1% | +45 |
| 8 | <u>Italy</u> | 25,363,742 | | 185,993 | | |
| 9 | <u>UK</u> | 24,243,393 | | 202,157 | | |
| 10 | <u>Russia</u> | 21,851,824 | +5,102 | 394,355 | | +46 |
| 11 | <u>Turkey</u> | 17,042,722 | | 101,492 | | |

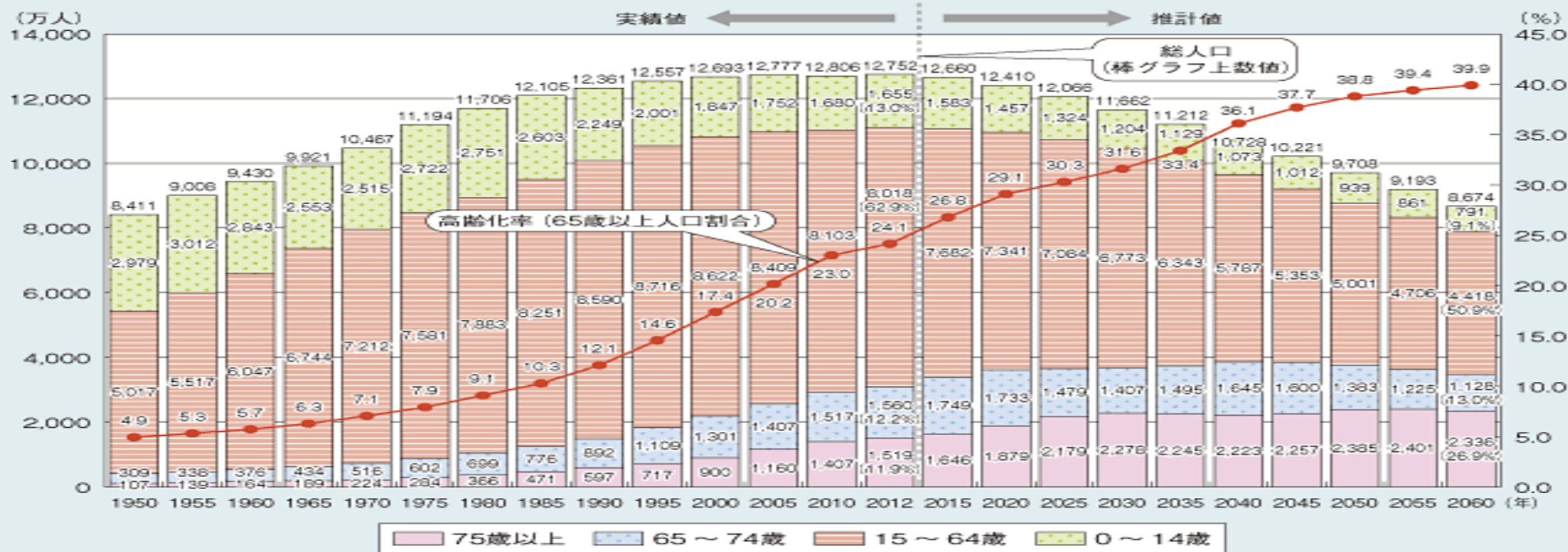
表5. 日本の人口変化: 少子高齢化と労働者不足:

日本の人口、2060年(40年後)には、労働力人口半減。65歳以上40%。

2110年には人口3分の1, 2200年には人口1千万人!

入管法改正2019.4. 外国人労働者受け入れ, 5年で34万人:(1年目1621人!) 出入国管理庁
 (内閣府総務省Data) 移民の低賃金、人権無視を早急に解決する必要。日本の緊急の課題!

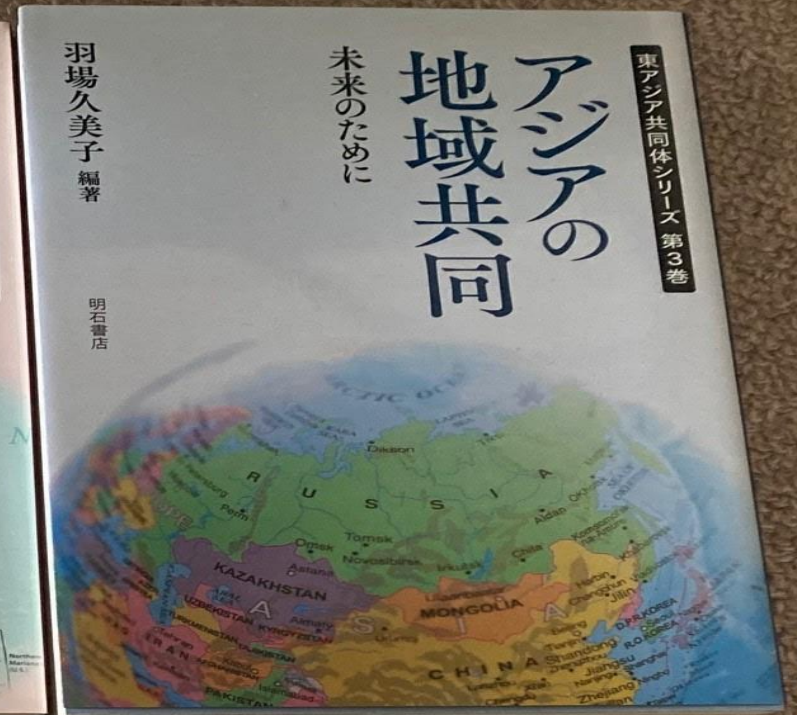
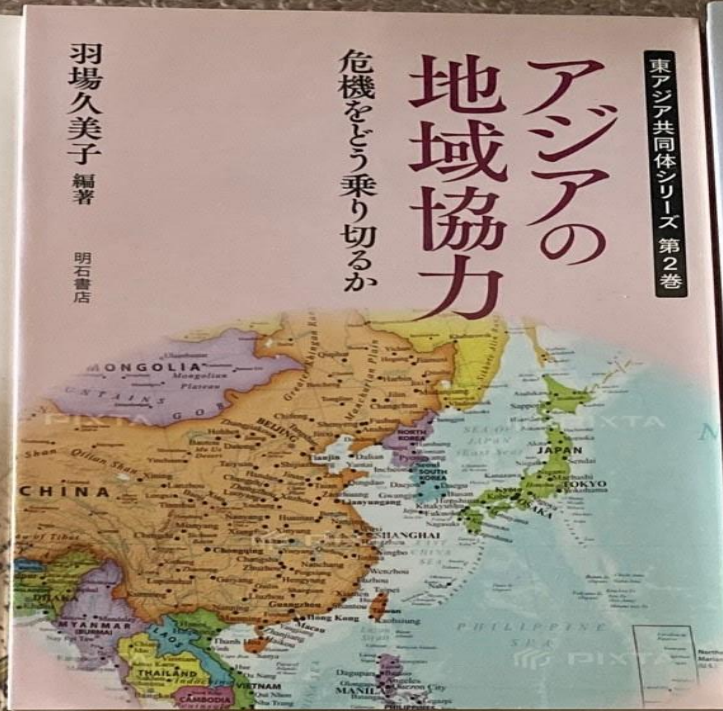
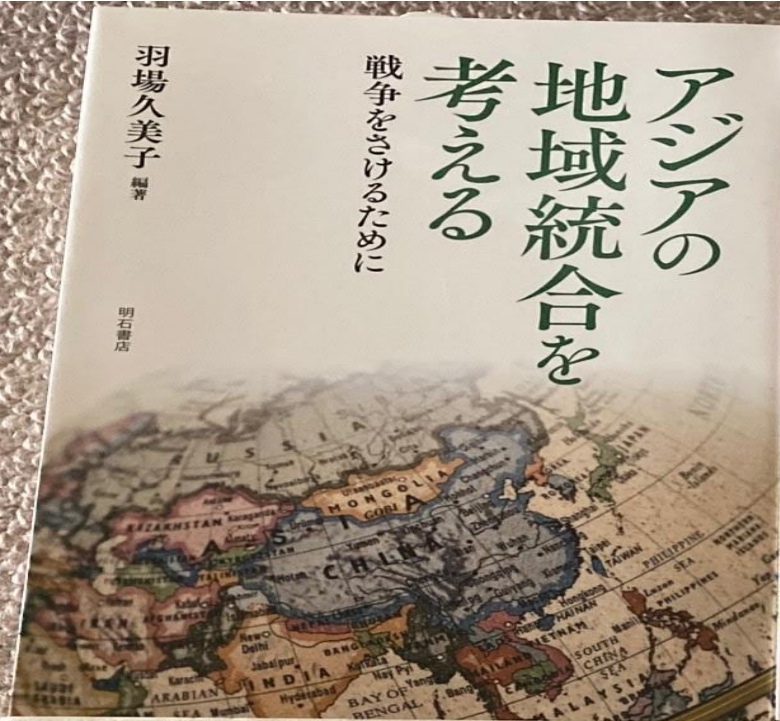
図1-1-4 高齢化の推移と将来推計



資料: 2010年までは総務省「国勢調査」、2012年は総務省「人口推計」(平成24年10月1日現在)、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果
 (注) 1950年~2010年の総数は年齢不詳を含む。高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。

羽場久美子編著書: アジアの地域協力、共同

戦争をさけるために、危機をどう乗り切るか、未来のために！今始めなければ手遅れ



ヨーロッパの 分断と統合

拡大EUのナショナリズムと境界線——包摂か排除か

羽場
久美子
Kumiko Kuba

分断と統合の
ヨーロッパ

岩波ブックレット No. 828

グローバル時代の アジア地域統合

日米中関係と TPP のゆくえ

羽場 久美子

羽場久美子 著

拡大ヨーロッパの挑戦

アメリカに並ぶ多元的パワーとなるか

羽場久美子編著書:新世界秩序をどう作るか？

米欧とアジアは、敵対ではなく協力を！



データが教えること。アジア近隣国との友好が不可欠！

にもかかわらず、軍事化進行

現状① 沖縄諸島に（対中）ミサイル配備開始

▶ 沖縄に**無人ミサイル配備**へ：日米2 + 2、南西諸島の防衛強化

▶ 2022/1/13 (琉球新報) **★盾（専守防衛）から矛（攻撃）へ！**

▶ 「**戦闘になれば沖縄が標的に**」ミサイル配備に反対うるま市

▶ 2022/12/26 (沖縄タイムズ)

歴史的に考えて中国が沖縄にミサイルを撃ち込むはずがない！（誰の利益?!）

▶ **防衛予算、与那国島の新地对空ミサイル配備のため土地取得（島民が喜んでいる図?）**

▶ 2022/12/24 NHK

▶ **過去最大6兆8000億円余りとなった防衛費：**

▶ **南西諸島の防衛強化**のためとして、沖縄に予算配分 (NHK)

▶ **誰のための防衛か？ どうすれば止められるのか？**

▶ **こちらがミサイル配備すれば、当然相手もこちらに向けてミサイル配備**

▶ 2000年の歴史で、中国が日本に侵略したか？日本が大陸に侵攻。

▶ 中国に、朝貢、冊封（さくほう）体制を続けてきた沖縄。歴史に逆らう方向

現状② 日本列島南部、南西諸島と沖縄石垣島に、 地下司令塔

(2023.1.22) 大分、青森にも。日本全土に地下司令塔？

＜戦闘が始まって地上が荒廃しても＞、地下から敵基地攻撃を司令 (24年までに10も！)

- ▶ 国民の犠牲を、考えていない。
- ▶ 憲法9条の違反、人権侵害ではないか？ 地元の議会・住民に了承を得ていない
- ▶ 国会で審議もしていない（閣議決定）－民主主義が踏みにじられている。
- ▶ どうすればいいのか？
- ▶ **まず、市民の意見を聞く。議会で話してから決める。「民主主義」**
- ▶ 羽場、この冬、アメリカ国連本部、タイ、インドを歴訪。
- ▶ どの国も平和と安定を望む。多様な意見を聞く。
- ▶ ロシア・ウクライナ戦争を停戦に！ **アジアの経済力と平和により、平和と繁栄をリード**
- ▶ **ウクライナ戦争：現在トルコ、フランス、ドイツ、中国、インドが停戦要求。**
- ▶ 日本と韓国の知識人100名で停戦要求を国連に提出。アメリカ、欧州は反対。
- ▶ どうしたらよいか？ **ダボス会議2023年「分断から共同へ！」**

1. 安全保障の現状：北朝鮮、および中国

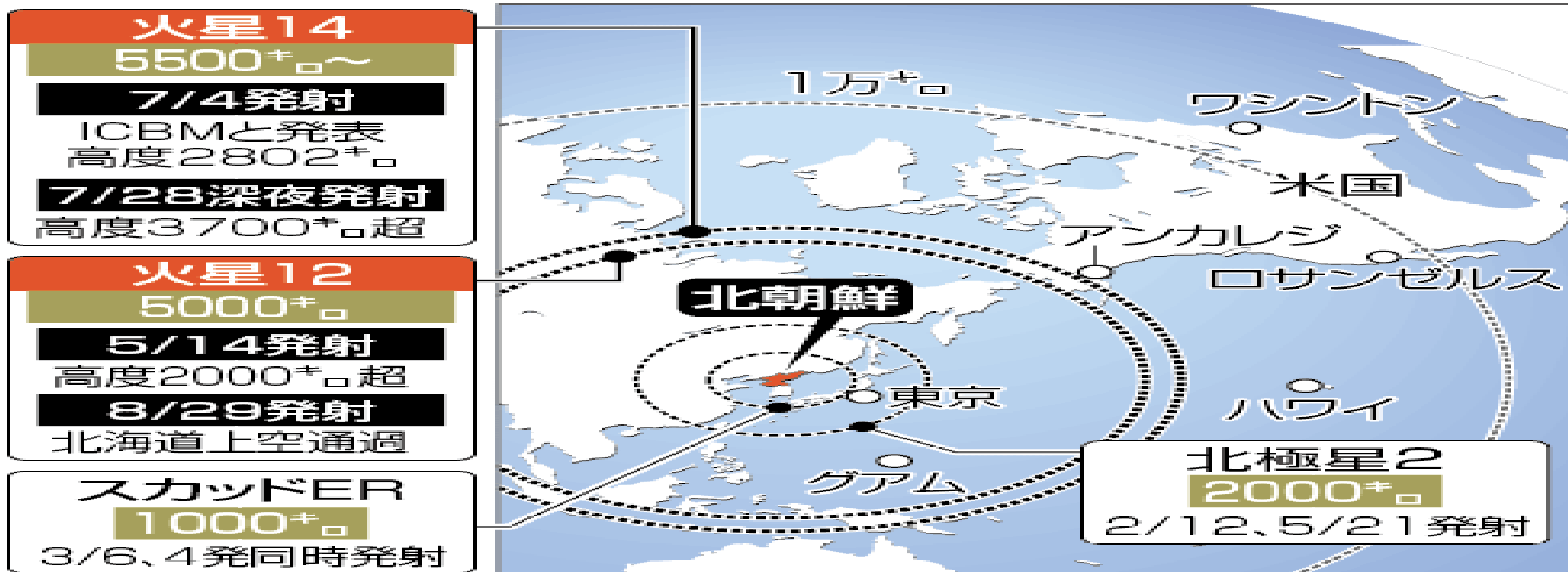
北朝鮮の核兵器：弾道ミサイル開発。 2017.11.

北朝鮮の長距離弾道ミサイル1万キロ開発、アメリカに到達（時事ドットコム）

★2022年11月の、火星17は、ICBM 15000^{キロ}。 米国全土と欧州が射程！

（韓国・日本は標的ではない）

北朝鮮の弾道ミサイル



(北朝鮮メディア、日韓両政府の発表による)

1) QUAD (日米豪印4か国戦略対話) 東アジア版NATO 安倍首相が提唱

2) QUADプラス (韓国、ベトナム、ニュージーランド) (朝日新聞) (2006-7)



クアッド関連協議はいかに進められてきたか

| | |
|-----------|---|
| 2015年 4月 | 米日同盟、中国の浮上に対応する「グローバル同盟」に拡大 |
| 2016年 8月 | 安倍首相、自由で開かれたインド太平洋を初めて言及 |
| 2017年 11月 | 米日首脳会談で「インド太平洋を自由で開かれた空間に、同意する諸国と協力し、重層的な関係を構築」 |
| 12月 | 米国、中国を「戦略的競争相手」と捉える国家安保戦略(NSS)を発表 |

| | |
|----------|---|
| 2018年 1月 | インドのニューデリーで「クアッド」軍当局者会談 |
| 2019年 6月 | 米国防総省、インド太平洋戦略を公式化 |
| 9月 | 米国のニューヨークで初の「クアッド」外相会議 |
| 2020年 8月 | ビーガン副長官、「クアッド」を東アジア版北大西洋条約機構(NATO)にする構想について言及 |

東アジアの安全保障： 1) QUAD, 2) QUADプラス、 3) AUKUS、 4) Five eyes

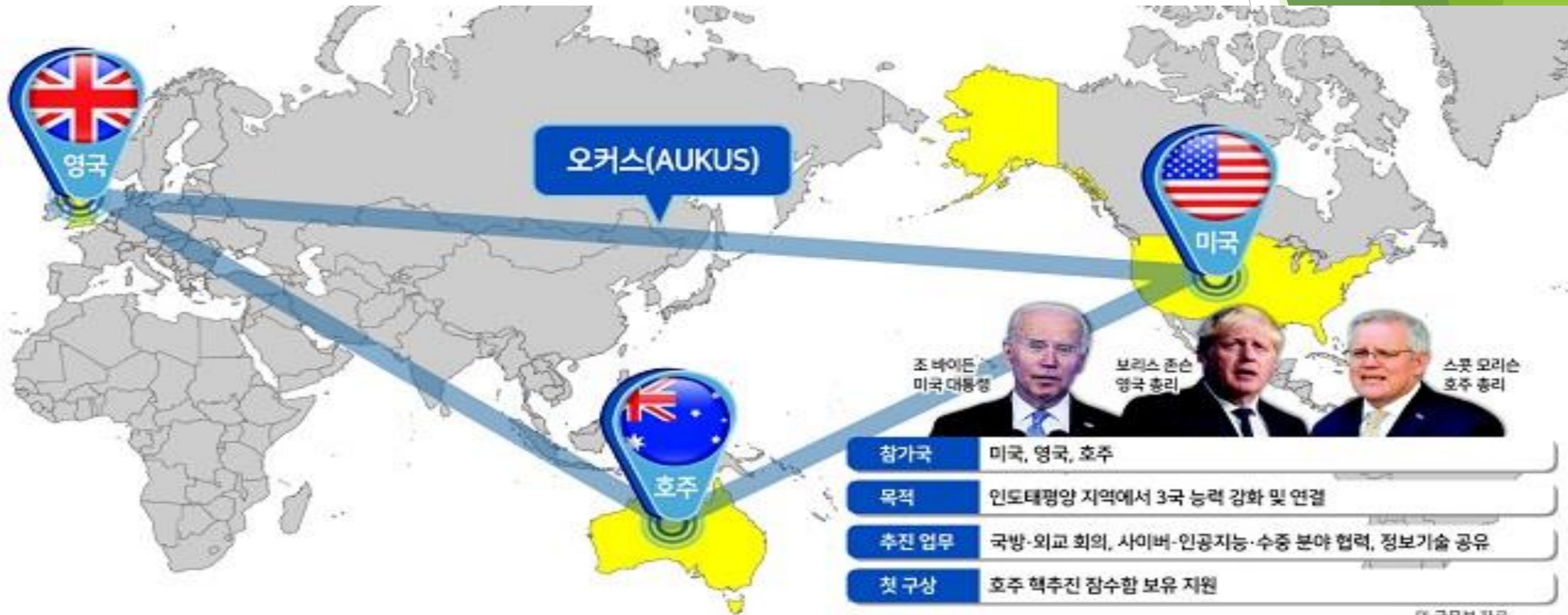
- ▶ 1) . QUAD (日米豪印4か国戦略対話) –ひし形で中国を取り巻く、
- ▶ ★しかしインドは消極的。安倍首相が2013年提唱 (インド?)、トランプ政権が実質化
- ▶ 2) . QUAD プラス：韓国、ベトナム、ニュージーランド、(台湾)
- ▶ <東アジア版NATOを構想> (中国・ロシア・北朝鮮を封じ込め)
- ▶ <台湾と沖縄をその最前線に置こうとする>
- ▶ ★欧州、日本、ASEANは、中国との対立に必ずしも同調しない
- ▶ <★経済先進地域の東アジアを、紛争地にしたくない★>
- ▶ 背景:コロナ禍で経済が悪化、安全保障と経済を分けたい
- ▶ ★重要！ 経団連、中小企業：日本商工会議所、2021年12月中国経済との連携を希望
- ▶ ロシアとのサハリン2も継続：三井物産、三菱商事。
- ▶ しかしアメリカから圧力、2023年7月には半導体材料を輸出停止。
- ▶ 国民の利益、企業利益、継続性を考える。イデオロギーではない。
- ▶ 我々は何をすべきか？ メディアは極めて重要： 情報が十分伝えられていない。
- ▶ メディア・リテラシー、公平、多面的な報道が重要

3) AUKUS: 米英豪の軍事情報3国同盟 4億人超

軍事・IT・核 (背景に中国のIT人口10億!) バイデン・ジョンソン・モリソン

4) ファイブアイズ(米英カナダ・豪・ニュージーランド) 諜報網

ヨーロッパ、日本韓国同盟国は除外。同盟国欧日にも、盗聴器(Wikileaks) (Wow! Korea)



3. 2極化は何をもたらすか？ このまま進めば、日本列島が最前線に。

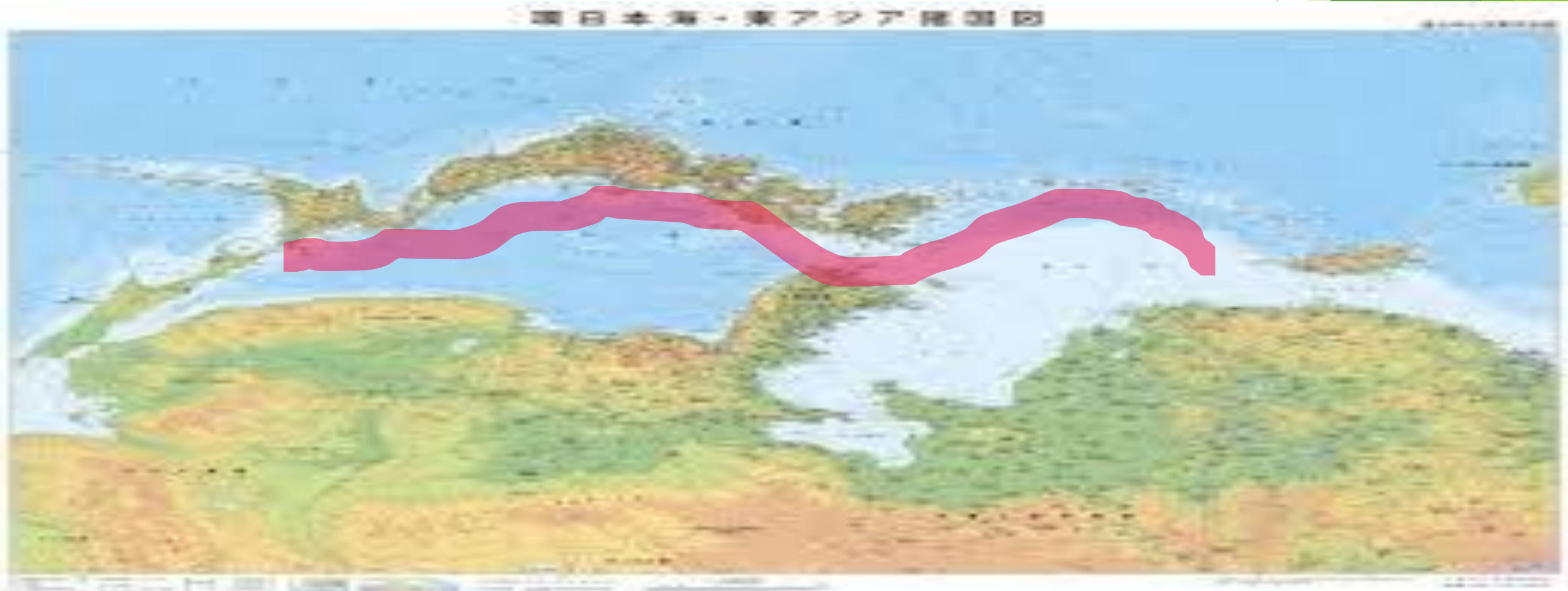
3000キロにわたるアジア大陸封じ込めの自然要塞(赤ライン)

日本列島・沖縄・台湾・韓国の連携により、

ロシア・北朝鮮・中国に対抗する、「最前線基地：は、日本の利益か？

この細腕で、弁慶のように、3核大国から飛んでくるミサイルに対して

1億2500万の国民を守れるのか？ アジア大陸との共同こそ、軍縮・平和の道



現状⑥もし東アジアで戦争が起こったら？

北朝鮮の核施設寧辺(ヨンピョン核施設)が爆破されるだけで、東アジア経済圏ストップ

★チェルノブイリ30年後の、ノルウェー、スウェーデンの調査によれば、

原発事故後30年たって、北欧1200km圏のトナカイの肉、キノコなどに高い放射線！

これが東アジアだったら？北朝鮮1200km圏：日本列島、朝鮮半島、中国沿海州、ロシア極東全部入る。

東台湾・沖縄で有事が起こったら？ 中国・韓国・日本の経済圏壊滅！絶対に戦争を起こしてはならない！

北朝鮮からの射程距離

2013-04-04 chizu25, ip:177ed-2017-08-30

北朝鮮の常套手段、瀬戸際外交がエスカレートして寧辺(ヨンピョン Yongbyon)の原子炉再稼働へ建設作業を開始した
(35north.org) とか。

くわえて日本海側にミサイル配備の動きがあるとか。
咸興北道・舞水砲理(ムスダンリ)からの射程まとめ

黄色のマーカーをドラッグ、円の半径 = 1208.83 km



II. どうしたらよいのか。

1. <アジア大国の地域協力 興味深い事実:>

1) 中国 地域協力関係を重視。

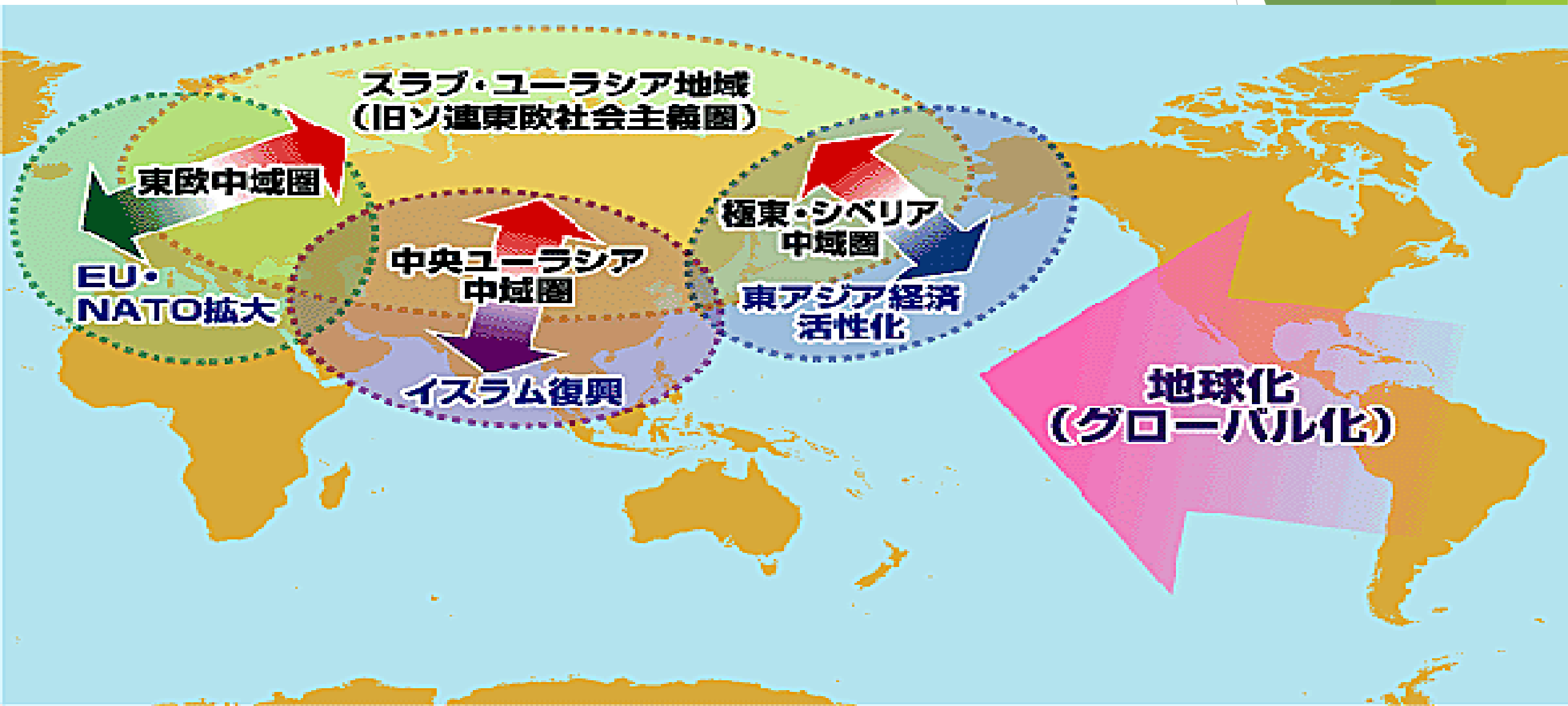
米英: QUAD, AUKUSへの対抗を避け、西へ: 経済投資とインフラの安全保障。

中国一軍事共同でなく、経済協力へ



2) ロシアも地域協力：スラブ・ユーラシア連合（北極圏含む）

欧州、アジア、アフリカに、石油・天然ガス、穀物供給



3) 14億インドも、周辺諸国と地域協力

① SAARC(南アジア地域協力連合)

SAARC大学で講演。貧しい国の学生を集め育てる。



SAARC COUNTRIES FLAGS



Afghanistan



Bangladesh



Bhutan



India



Maldives



Nepal



Pakistan



Sri Lanka



SAARC
South Asian Association
for Regional Cooperation

- Afghanistan
- Pakistan
- India
- Nepal
- Bhutan
- Bangladesh
- Sri Lanka
- Maldives

3) インドの地域協力;

② BIMSTEC(ベンガル湾多分野技術経済協力イニシアチブ)

より経済重視。ASEAN連携。

BIMSTEC

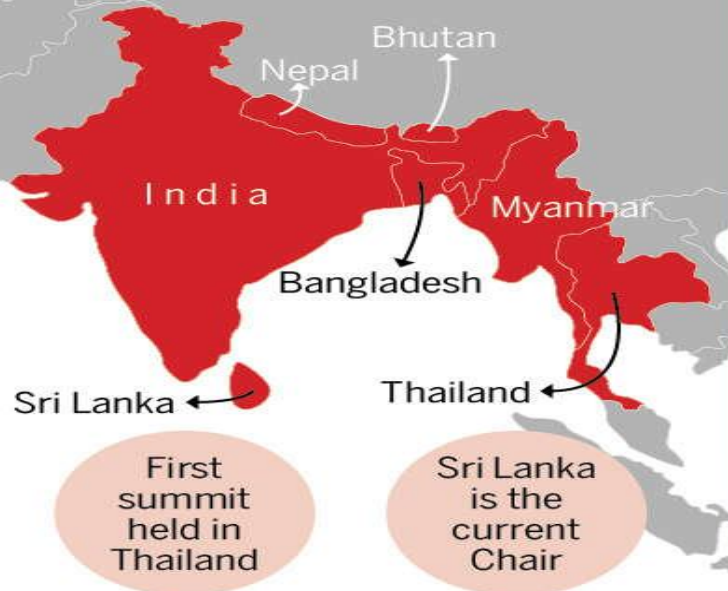
WHAT YOU SHOULD KNOW



Stands for **The Bay of Bengal Initiative for Multi-Sectoral Technical and Economic Cooperation**

Founded in 1997 through **Bangkok Declaration**

7 MEMBER COUNTRIES



Importance of BIMSTEC

- Accounts for **22%** of the world's population
- Combined GDP of **\$2.7 trillion**
- One-fourth of the world's traded goods cross the Bay every year
- Six focus areas—trade, technology, energy, transport, tourism and fisheries

BIMSTEC

Bay of Bengal Initiative for Multi-Sectoral Technical & Economic Cooperation



Bangladesh



Sri Lanka



India



Nepal



Bhutan



Thailand



Myanmar

II. 日本は、どうしたらよいのか。防衛準備でなく、 2. <沖縄+台湾を平和のハブに> 東アジアでは戦争しない

3/7 in 沖縄

沖縄をハブとする 東アジアの平和 ネットワークをめざす 国際シンポジウム

来賓あいさつ 玉城 徳一 沖縄県知事

来賓あいさつ & 問題提起 鳩山 由紀夫 元内閣総理大臣

問題提起 羽場 久美子 青山学院大学名誉教授

朴 相鉄 (パク・サンチュル) 韓国ポリテク大学教授

楊 伯江 中国社会科学院日本研究所所長

沖縄県市町村自治会館ホール

<沖縄+韓国・ジエジユ+台湾を平和のハブに！ アジアの国連を沖縄、韓国に！>

沖縄：中国・日本と歴史的な関係を持ってきた 日中韓ASEANと連携

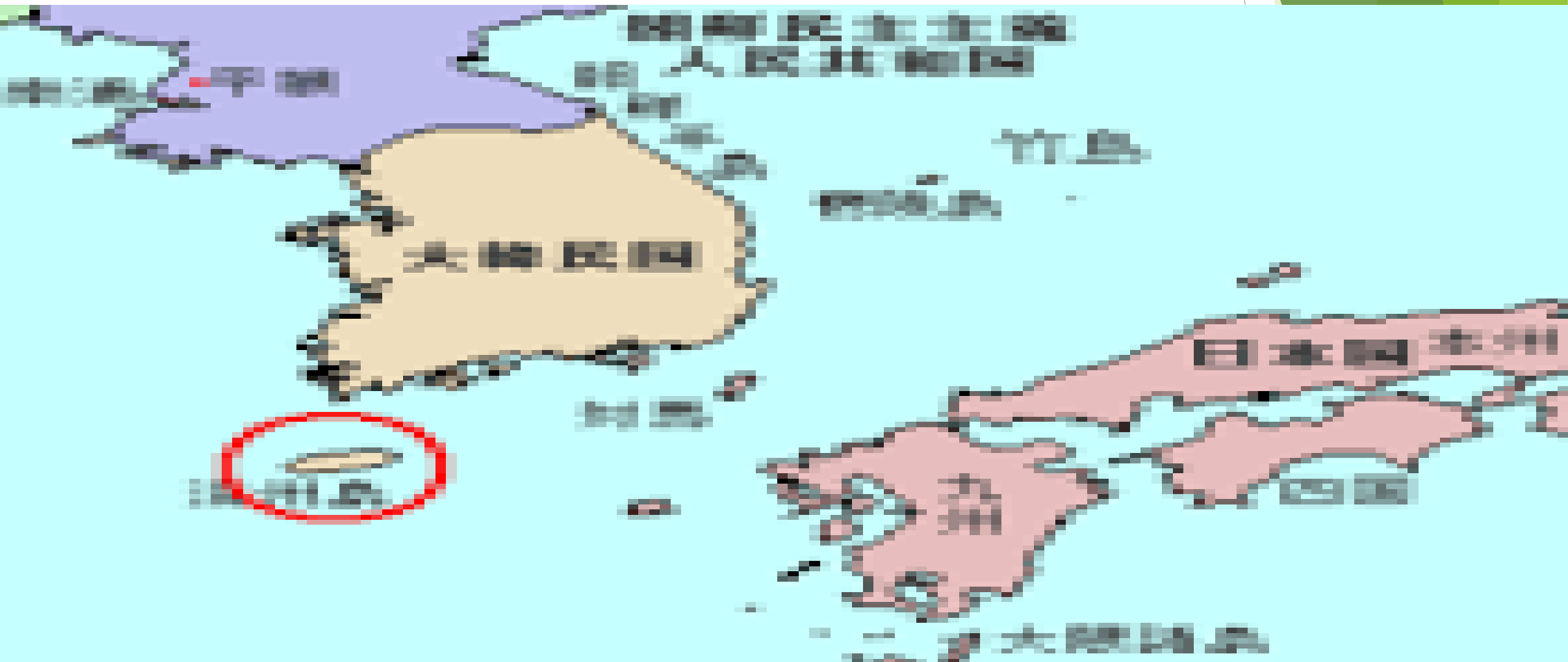
- ▶ 沖縄は長年、中国に対して朝貢・冊封体制
- ▶ 2000年以上にわたる友好関係の中で、
- ▶ 今、アメリカを経済で抜こうとする中国が、
- ▶ **なぜ台湾や沖縄に戦闘を仕掛けるか？理由がない。**
- ▶ アメリカ、「6年以内に中国が戦争を起こす」
- ▶ あり得ない！
- ▶ 世界の統計「6年以内に中国はアメリカを抜く！」
- ▶ (イギリスのシンクタンク)
- ▶ **沖縄市民、韓国市民、の声を聴く。**
- ▶ **隣国との友好は必須。**
- ▶ 沖縄にとって東京はフィリピンより遠い



濟州島も同様。美しい島、「東アジアのハワイ」

他方で、1948年4.3事件。虐殺

島は本来、近隣を「結ぶもの」。和解と共同を、境界から作る。

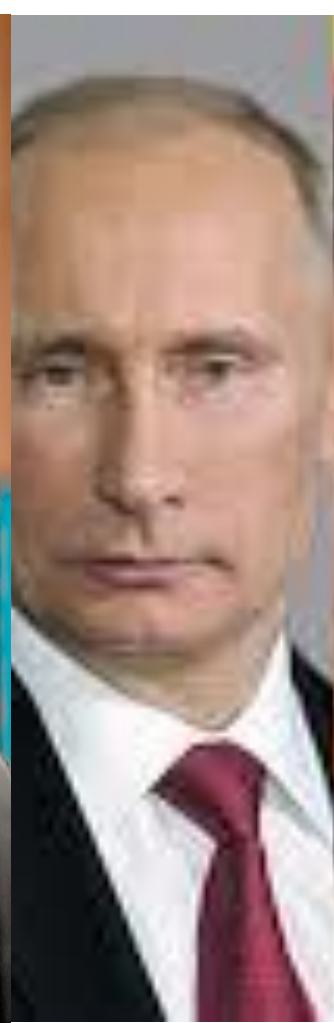


II-3. 世界最強の6人の指導者:だれが戦争を止められるか?

大国の指導者の善政を待つのではなく、市民・自治体から。

自治体、国民、メディア、自らが平和を構築。政党の連携も必要!

★沖縄玉城知事・既に「地域外交室」作成、独自に米中韓台湾と対話



まとめ:21世紀はアジアの時代。平和と軍縮をアジアから。

沖縄・濟州島を、平和のハブに！「東アジアの国連」を！

▶ 1. **アジアは繁栄の地。戦争をさせない！非核地帯宣言を！**

▶ 2. **中国朝鮮から侵略された歴史はない。**（日本が大陸侵攻）まずそれを認識。

▶ **国連と結び中国・韓国・インド、アジア・アフリカの平和と繁栄を！**

▶ **政府は、ミサイル配備には、自治体の合意を取るべき。民主主義の基本**

▶ 3. **市民、自治体から「平和」を作る：**

▶ **経済界・メディア・若者・女性が連携し、平和と対話と繁栄を**

▶ 4. **中国・韓国・台湾など近隣国と連携。**

▶ **問題があっても「対立で解決。」**

▶ **日・中・韓は、勤勉さ、技術的先進性、和の力で、世界を平和的にリードする。**

▶ 6. **アジア人同士の戦争はしない**

▶ **沖縄・濟州島に、「東アジアの国連」を！ 日中韓で平和のセンターを！**

▶ **<ご清聴、ありがとうございました。>**

参考文献

(羽場久美子基本文献) (訳さなくていいです)

▶ Angus Maddison, *Contours of the World Economy, 1-2030 AD*, 2007.

▶ 『世界戦争100年と地域協力、いかなる世界秩序を作るか?』 (英語) K.Haba, Canavero, *100 years of World Wars* Springer, 2022

▶ *Brexit and After*, (K.Haba Martin Holland) Springer, 2021.

▶ グレアム・アリソン『米中戦争前夜』ダイヤモンド社、2017.

▶ 羽場久美子「ロシア・ウクライナ危機とフランス大統領選挙—マクロンは、フランス、EU、グローバル世界のリーダーとなるか?」『海外事情』2022. 5-6.

▶ 羽場久美子「沖縄を平和のハブに!」『週刊金曜日』2022.5.

▶ 羽場久美子「中国がアメリカを抜いて「経済で世界一」になる前に日本がとるべき路線—経済はアジア、政治はアメリカ—」講談社現代イスメディア、2022.1.24.

▶ 『移民・難民・マイノリティ—欧州ポピュリズムの起源』(羽場編著)彩流社、2021.

▶ 羽場久美子「コロナ後の国際政治と日本—経済競争から「価値の同盟」へ—」『神奈川大学評論』2021.7.

▶ 羽場久美子「最終講義: 21世紀、米欧中どこが世界をリードするか?—EUのレジリエンスと規範力」青山学院大学、2021.1.

▶ 羽場久美子ほか 特集1、「アジア近隣諸国との対立を超えて」『学術の動向』2020.9月号.

▶ 『21世紀 大転換期の国際社会—いま何が起きているのか?』法律文化社、2019.

▶ 『アジアの地域統合を考える—戦争をさけるために』、明石書店、2017.

▶ 『アジアの地域協力—危機をどう乗り切るか』、明石書店、2018.

▶ 『アジアの地域共同—未来のために』明石書店、2018.

▶ 羽場久美子『ヨーロッパの分断と統合—拡大EUのナショナリズムと境界線』中央公論新社、2016. (ウクライナ2014)

▶ 羽場久美子『拡大ヨーロッパの挑戦』中公新書、2014. (NATOの拡大)

▶ 羽場久美子「パワーシフト—国家不安、領土紛争とゼノフォビア」『学術の動向』2014年1月号.

▶ 羽場久美子『グローバル時代のアジア地域統合』岩波書店、2012.2.